

被災“地”から 被災“者”へ

～6年目の復興と地域課題を考える学生フォーラム～



東日本大震災から5年目。

女性活躍推進法の成立、イクボスの広がり、若者の地域参画等、多様な視点を受け入れる風土づくりが注目を浴び、街づくりや復興政策、支援活動の展開にも、様々な立場からの視点が求められるようになります。

多様な価値観、一人一人の望む暮らしの在り方に
応じた県土と復興を考えるため

**学生が自身のこれまでの支援活動を振り返り
若者視点から感じた地域課題とこれから求められる視点を発信し、**

後の世代へとつなぐ復興の在り方と支援団体の活動継続を考えます。



会場／岩手県公会堂大ホール
入場無料 300名

基調講演

多様性に配慮をもった視点から考える
これからの復興

～ひとりひとりが大切される社会をめざして～

(一財)ダイバーシティ研究所代表理事・復興庁復興推進参事 田村太郎氏

学生発表

- 1 防災～5年間の支援活動総括
- 2 「若者」視点から発信する「現地に存在する地域課題」

発表団体

岩手大学／三陸復興サポート学生委員会
岩手県立大学／復興girls&boys
東北大学／陸前高田応援サークル ぽかぽか
福島大学／学生ボランティアセンター
甲南女子大学／関西MyDogirls

第1日目
2/20日
13:00～17:00

会場／岩手大学復興祈念銀河ホール
入場無料 150名

「若者」パネルトーク

学生視点で語る「これから必要なもの」

- テーマ1 6年目の支援。僕らに求められる視点と姿勢は？
テーマ2 多様化する地域課題に向けて僕らができることは？
テーマ3 被災地で得たもの。これからどう生かす？

※テーマは予定です。

第2日目
2/21日
10:00～12:30

主催：岩手大学 三陸復興推進機構 三陸復興サポート学生委員会

後援：復興庁※申請中



三陸復興サポート学生
委員会の活動は、左記
よりご覧いただけます。

f Facebookで
チェックしてね

被災“地”から被災“者”へ

～6年目の復興と地域課題を考える学生フォーラム～

第1日目 2/20(土) 13:00～17:00

会場／岩手県公会堂大ホール

基調講演

多様性に配慮をもった視点から考えるこれからの復興
～ひとりひとりが大切される社会をめざして～

(一財)ダイバーシティ研究所代表理事・復興庁復興推進参与 田村太郎氏

学生発表

- 1 発災～5年間の支援活動総括
- 2 「若者」視点から発信する「現地に存在する地域課題」

岩手大学 三陸復興サポート 学生委員会



陸前高田市・釜石市において、現地の子どもたちとの交流や地域の伝統行事の支援等を行っています。住民の方と名前呼び合える関係でいることを大切にしています。

@gandai_gakuvo



Facebookで
チェックしてね

福島大学 (学生団体)福島大学災害 ボランティアセンター



仮設住宅での足湯活動などを通じたコミュニティ形成支援を中心に、県内外問わず幅広く支援活動を行っています。昨年からは「ただ支援」という支援活動も実施しています。

<http://fukudai-volunteer-center.jimdo.com/>

@fukudai_saigai



Facebookで
チェックしてね

岩手県立大学 復興girls&boys



岩手県沿岸地域の商品を委託販売するという形で、復興のお手伝い、PRを行っています。イベントで商品を販売するとともに、沿岸地域の魅力や現状、現地の声を届けるパイプ役として活動しています。



Facebookで
チェックしてね

甲南女子大学 関西MyDogirls～ Team南女～



1.被災地の現状を知る、学ぶ 2.被災地の現状を関西の仲間発信し、伝える 3.被災地の応援(支援活動)をする(関西、東北)の3点を理念として掲げ、東北では岩手県釜石市、大槌町で、関西では神戸、大阪を中心に活動を行っています。



Facebookで
チェックしてね

東北大学 東北大学 陸前高田応援 サークル ぽかぽか



東北大学地域応援サークルぽかぽかは、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市のみなさんのために活動しています。この名前には、現地の方々と温かく、決して堅苦しくない「人」と「人」のつながりを大切にしていきたいという意志が含まれています。

<http://ameblo.jp/poca-2/>

@poca_2



Facebookで
チェックしてね

第1日目 講師紹介



田村太郎(たむらたろう)氏 プロフィール

兵庫県生まれ。高校卒業後、海外を放浪。在日フィリピン人向けレンタルビデオ店で勤務することで、日本で暮らす外国人の課題を知る。阪神・淡路大震災での外国人被災者への支援を機に「多文化共生センター」を設立。日本で暮らす外国人との共生をテーマに活動が続けるほか、「神戸復興塾」事務局長や「兵庫県被災者復興支援会議」委員として、非営利・民間の立場から阪神・淡路大震災で復興に関わる。

2007年にダイバーシティ研究所を設立。CSR(企業の社会責任)や自治体施策を通じたダイバーシティの推進に取り組む。東日本大震災直後に内閣官房・震災ボランティア連携室の企画官に就任。現在は復興庁・復興推進参与として東北復興に参画。共著に『企業と震災』『つないで支える』など。明治大学大学院兼任講師、関西学院大学非常勤講師(ソーシャル・ビジネス、ダイバーシティ・マネジメント)

※テーマは予定です。

第2日目 2/21(日) 10:00～12:30

会場／岩手大学復興祈念銀河ホール



「若者」パネルトーク

学生視点で語る「これから必要なもの」

- テーマ1 6年目の支援。僕らに求められる視点と姿勢は？
テーマ2 多様化する地域課題に向けて僕らができることは？
テーマ3 被災地で得たもの。これからどう生かす？

司会進行 岩手大学三陸復興推進機構 生活支援部門ボランティア班

※テーマは予定です。

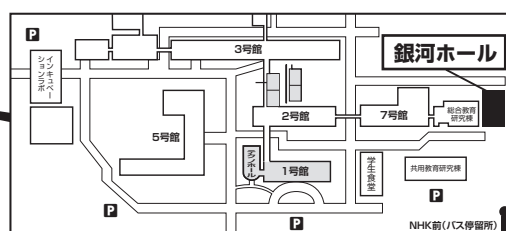
第1日目 岩手県公会堂マップ

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11番2号



第2日目 岩手大学復興祈念銀河ホールマップ

〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5



P 工学部駐車場利用可能

参加方法

下記アドレスまで「タイトル フォーラム申し込み」「1・参加者氏名(団体名)」「2・参加人数」「参加日を選択(2/20・21・両日)」を記載し、メールを送付してください。

※どなたでも無料で参加できます。

※電話でのお申し込みも可能です。

※申し込み人数が多い場合、抽選とさせていただきます。